

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2 F	展示室1	4/17	コレクション展Ⅰ (4/19-7/10)		コレクション展Ⅱ (7/12-10/23)			コレクション展Ⅲ (10/25-1/14)			コレクション展Ⅳ (1/17-4月中旬)		
	展示室2	【開館記念展Part3】 デザインあ展 in TOYAMA (3/21-5/20)		高野山金剛峯寺 襖絵完成記念 千住博展 (6/9-7/29)		第12回 世界ポスター トリエンナーレ トヤマ2018 (8/11-10/8)		三沢厚彦 ANIMALS (10/20-12/25)			START☆ みんなの ミュージアム 2019 (1/19-2/24)		
	展示室3	【開館記念展Part3】 デザインあ展 in TOYAMA (3/21-5/20)		高野山金剛峯寺 襖絵完成記念 千住博展 (6/9-7/29)		第12回 世界ポスター トリエンナーレ トヤマ2018 (8/11-10/8)		三沢厚彦 ANIMALS (10/20-12/25)			START☆ みんなの ミュージアム 2019 (1/19-2/24)		
	展示室4	【開館記念展Part3】 デザインあ展 in TOYAMA (3/21-5/20)		高野山金剛峯寺 襖絵完成記念 千住博展 (6/9-7/29)		第12回 世界ポスター トリエンナーレ トヤマ2018 (8/11-10/8)		三沢厚彦 ANIMALS (10/20-12/25)			START☆ みんなの ミュージアム 2019 (1/19-2/24)		
3 F	展示室5	4/10	デザインコレクションⅠ (4/12-7/16)		デザインコレクションⅡ (7/19-11/6)			デザインコレクションⅢ (11/8-2/5)			デザインコレクションⅣ (2/7-4月下旬)		
	展示室6	4/10	瀧口修造 書斎という小宇宙 (4/12-7/16)		瀧口修造 私の心臓は時を刻む (7/19-11/6)			瀧口修造 オブジェショップ (11/8-2/5)			瀧口修造-夢の漂流物 (2/7-4月下旬)		
			シモン・ゴールドベルク & 山根美代子コレクション										

■ 企画展 ■ コレクション展

SCHEDULE

【富山県美術館開館記念展 Part3】 デザインあ展 in TOYAMA

3月21日(祝・水)ー5月20日(日)

子どもたちのデザインマインドを育む番組 NHK Eテレ「デザインあ」。本展は「デザインあ」のコンセプトを、体験の場を発展させた展覧会です。身のまわりにあるモノ・コトから概念までテーマをほりさげ、未来を担う子どもたちに、「見る」「考える」「つくる」ことの豊かさを体感してもらいたいと願っています。

展覧会ディレクター：佐藤卓、中村勇吾、小山田圭吾
展示構成：岡崎智弘、パーフェクトロン、plaplaX

- 一般 1,300(1,000)円
- 大学生 950(750)円
- ※()内は20名以上の団体料金



第12回 世界ポスタートリエナーレトヤマ2018 (IPT2018)

8月11日(祝・土)ー10月8日(祝・月)

1985年から富山県立近代美術館で3年に一度開催してきた、日本で唯一の国際公募のポスター展。「IPT」の名で世界中のポスターデザイナーに親しまれています。国内外のデザイナーらが審査を行い、今日の最先端を行く世界のポスターが富山で一室に会する展覧会です。富山県美術館となって初めての開催となるIPT2018では、若手世代によるポスターデザインを応援する部門を新設し、開催します。

- 一般 1,100(850)円
- 大学生 550(420)円
- 一般前売り 850円
- ※()内は20名以上の団体料金



IPT2018公募ポスター (デザイン: 佐藤卓)

START☆ みんなのミュージアム2019

2019年1月19日(土)ー2月24日(日)

学校 (School) × 富山 (Toyama) × アート (ART) = "START"。富山県内の小・中・高・特別支援学校の協力のもと、学校の児童生徒のみなさんが主役の展覧会の第2回展です。学校と現代アーティストのコラボレーションによる作品展示や、ワークショップなど、平成31年の初春の富山県美術館にはアートを体感できるしかけがいっぱい。子どもおとなも先生たちも、めざせ☆美術館のスター!

- 一般 500(400)円
- 大学生 250(200)円
- ※()内は20名以上の団体料金



START☆みんなのミュージアム2018展示風景 (砺波市立砺波南部小学校)



前回展のワークショップ風景 (富山市立奥田小学校×さとうりさ氏)

高野山金剛峯寺 襖絵完成記念 千住博展

6月9日(土)ー7月29日(日)

千住博 (1958年東京生まれ、ニューヨーク在住) は、岩絵具という素材や、自然と密接に関わっている日本画の理念を踏襲しながら、世界的視野にたち、今日にあるべき美を追求している画家です。本展は千住博が画業40余年の集大成と位置付ける、世界遺産・高野山金剛峯寺に奉納する渾身の襖絵を国内外で初公開するとともに、これまでの主要作品を展示。現代に生きる日本画の新しい可能性を模索する、千住博の世界観を紹介します。

- 一般 1,300(1,000)円
- 大学生 950(750)円
- 一般前売り 1,000円
- ※()内は20名以上の団体料金



千住博《高野山金剛峯寺襖絵 断崖図》部分 2018年



千住博《高野山金剛峯寺襖絵 瀧図》部分 2018年

三沢厚彦 ANIMALS

10月20日(土)ー12月25日(火)

三沢厚彦 (1961年京都生まれ、神奈川県在住) は日本を代表する彫刻家です。2000年、動物をモチーフとする木彫を制作し始め「ANIMALS」シリーズを発表しました。ほぼ等身大のユーモラスで迫力のある木彫は第20回平櫛田中賞を受賞するなど、高く評価されています。当館にはクマとハクタクカをモチーフとした新作彫刻が設置され、TADのシンボルとして来館者に親しまれています。本展では、「ANIMALS」代表作を中心に、富山をテーマとするプロジェクトをあわせて紹介します。

- 一般 1,300(1,000)円
- 大学生 700(500)円
- 一般前売り 1,000円
- ※()内は20名以上の団体料金



三沢厚彦《Animal 2017-01-B, Animal 2017-02-B, Animal 2017-03-B》2017年 当館蔵



三沢厚彦《Animal 2016-01》2016年 撮影:渡邊郁弘 ©Atsuhiko Misawa, Courtesy of Nishimura Gallery

わたしはどこにいる? サインと場所をめぐるアートとデザイン

2019年3月9日(土)ー5月中旬

「サイン」(sign)とは、人を目的地に導く「目印」のこと。普段意識することは少なくても、駅や空港、商業施設、美術館などのあらゆる場所で、標識や案内板、矢印やピクトグラムといったさまざまなサインが存在しています。本展ではこの「サイン」に注目し、人間がどのように場所や空間を理解してきたのか、あるいは他者に伝えようとしてきたのか、「アート」と「デザイン」の両方の視点から迫ります。

- 一般 900(700)円
- 大学生 450(350)円
- 一般前売り 700円
- ※()内は20名以上の団体料金



富山県美術館 館内サイン(サイン計画:色部義昭/監修:永井一正)